

平成28年度第1回南砺市児童館運営委員会会議録

1. 開催日時 平成28年7月13日(水) 午前10時00分～午前11時30分
2. 開催場所 南砺市役所井波庁舎 3階 301会議室
3. 出席者 委員13名
沖田会長、前田副会長、水木委員、蟹野委員、竹中委員、碓井委員、西部委員、廣田委員、菊地委員、小橋委員、山崎委員、向井委員、土居委員
事務局(教育部こども課)4名
豊川部長、武田課長、溝口子育て支援係長、中川主査
指定管理者(学校法人福光キリスト教学園)1名
風間理事
児童館4名
内山児童厚生員(城端児童館)、酒井児童館職員(井波児童館きぼりっこ)、田中児童厚生員(福野児童センターアルカス) 上田児童厚生員(福光児童館きつずらんど)
4. 欠席者 委員2名
横川委員、松永委員
5. 傍聴人数 0人
6. 議題 (1) 児童館の運営状況について
(2) 児童館の活動について
(3) 城端児童館の改築について
(4) 次世代育成支援の施策展開の進捗について
(5) その他

開会 午前10時00分

会長挨拶

非常に暑い中、お集まりいただきありがとうございます。昨年の運営委員会の開催は遅れていましたが今年度はこの時期に行うことで、前年の反省と今年度の検討をしていきたいと思っております。皆様方の忌憚のないご意見をいただき、児童館がますます発展することを願い開会の挨拶に代えさせていただきます。

(事務局)

4月の機構改革により、今年度から、こども課が教育委員会に移管されたことにより、今回の運営委員会より豊川部長が出席しております。豊川部長よりご挨拶を申し上げます。

(豊川部長)

暑い中、また、お忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。4月から機構改革により各部の改革がございました。この度、こども課が、こどもに関することの窓口を一本化することで教育委員会に入ることになりました。子育てから教育まで、こどもに切れ目のない支援をしたいこと、気になる子など特に支援を要する子が増えていますので早い時期からの支援をすることを心がけ、幼稚園、保育園、小学校が連携していくことを教育委員会に入ることで一層強めていきたいと思っております。また、城端児童館の改築工事を着工させていただきました。来年3月には児童館が完成する予定にしております。その間の運営は、旧南砺消防署城端出張所で臨時開設し対応しているところです。放課後児童クラブにつきましては、近年、対象児童が小学校4年生までから6年生までに拡大されており、それに対応する施設整備が遅れていたところです。その中でも特に、福光東部小学校区においては、昨年度までは、小学校内の福光東部っ子クラブで受入しきれなかったため、福光児童館内のきつずらんどクラブへバスで送っていたところですが、この度、保育園の統合により空くことになった旧吉江保育園で、新しく東部げんきっ子クラブを開設したところです。こちらでは概ね3年生以上の子どもたちが利用しており、1～2年生はこれまでの小学校内の福光東部っ子クラブを利用しているところです。

このように、年度変わりに色々な変化があったところですが、本日は皆様方からよりよい児童館の運営について忌憚のないご意見をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

議事

【会長】

それでは、協議事項に入りたいと思います。児童館の運営状況について説明をお願いします。

(事務局)

平成28年度児童館・放課後児童クラブ等の体制、放課後児童クラブ等平成27年度実績、28年度状況について説明。

(指定管理者)

1年前から、4つの児童館の指定管理と5つの学童保育の委託を受けて運営してきました。今年度は、学童保育を1つ新規に委託を受けております。児童館と学童保育は、法的な違いはありますが、各館を見ておられますと関連はかなり強いと感じています。たくさん子どもたちが来ており、施設によっては100人を超える子どもたちが毎日のように来ています。児童館では、色々な行事やイベントを準備していますが、その前提として、子

どもたちの日常を支えることがとても大きな課題となっていると感じています。そこには、気になる子や家庭の環境に色々な課題を抱えている子もいるのが実状です。そういったお子さんも巻き込みながら包み込みながら、日常をどう育ちを支えていくかということで、現場では苦慮していることがあります。そういったときは私たちだけでは無理でして、小学校の先生方との連携、主任児童委員さんのご協力、地域の方々のご理解があって出来ることだと思っています。そういう課題を持っているお子さんは、1日で解決できるわけではありませんので、長い目でゆっくり、波もありますので見ていかなければならないと思っております。城端児童館は今、改築の中にありまして新しい施設をわくわくしながら待っているところではあります、施設は、古い施設もあり新しい施設もありますが、大事な人は人ですので責任者が一丸となって子どもたちのために行っていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【会長】

ただいまの説明について、なにかご意見・質問などありますか。

【会長】

こどもたちの変化みたいなことがありましたらお願いします。

(田中児童厚生員)

相変わらず元気に走り廻っており、遊び道具がなくても自分なりに工夫して遊んでおり、昔と同じように楽しく遊んでいます、やりたい事に突っ走り、周りを見て友達の気持ちを考えながら遊ぶことを考えることができないように思います。思い通りにいかない時にどうやって解決したらいいのかということを考える貴重な場だと思っておりますが、難しく感じています。また、複雑な家庭が増えてきており、先生や関係者との連携が必要となる機会が増えています。土曜日の利用では、お腹がすいたと言う子が多くなっています。家庭でしっかり食べて、思いきり遊んでもらいたいという願いもあるので、朝は食べてくるようにと言っています。自分で、どうしたらいいのかということを考える力をつけてもらえるように、遊びの中で機会を見つけて声掛けをしています。

【会長】

他にご意見はないですか。

【G 委員】

後ほど説明あるのかもしれませんが、次世代育成支援の進捗状況で平成31年度は43,000人と相当増えていますが、平成28年度はどのような目標をたてておられるか。

(事務局)

平成31年度については、城端児童館が新しくなり、井波児童館も昨年度から開設したばかりということであり、各館での活動内容を一層充実させる部分がありますので、利用者数として目に見える形で掲げています。平成28年度の目標値については、平成31年度に向けて、利用人数だけではなく色々な交流事業などを充実させていきたい。

(指定管理者)

児童館によって事情が違うように思います。福野は2つの学童保育があり、井波は新しくできた児童館ということで、地域以外の外部から見学に来られる方が結構おられます。数字というよりも来てくださる方の目的の部分で予想していたものと違っており流動的なところがあると感じています。

【B委員】

とやまっ子さんさん広場推進事業で、井波と福野の人数で幼児の利用がありますが、これはどうしてか。

(事務局)

とやまっ子さんさん広場推進事業は、対象を小学生だけに限っていません。地域のニーズに合わせて、小学生の兄弟の幼児も一緒に受け入れをされています。

寺子クラブにおいては、寺子子ども園という2歳から5歳までを受け入れる保育も展開されているので、そのお子さんもこの中に含まれていると思います。

【J委員】

指定管理者さんのことで心配していることは、目標人数のこともありますが、その利用者人数に見合った、職員の人数はおられますか。

(指定管理者)

昨年度は1年目ということで、はじめて受ける者として分からない部分が多々あり、現場の方に迷惑をかけながらも何とかやってまいりました。大事なことだと思うのは、子どもたちの日常を一番おろそかにしてはならないと思っています。スタッフは、児童館としての活動や行事を労力かけてやってくださっていますが、その他に、一人ひとりの子どもたちのその日の状況を、毎日見ているスタッフは気付きますので、必要な時は内部で相談したり、学校などと連携をさせていただいています。先程食事の話がありましたが、夏休みは、児童館で過ごす時間が長いのですが、家から何も持たずに来る子がいますので、お母さんに声掛けしながら、やんわりとうまく導いていくことが大事なことだと思っています。人数については、長期休みに入る時期が特に必要を感じる時です。特に、東部げんき

っ子クラブは新規の学童保育ということもあり、少ないということで先日3名の面接をさせていただいたところです。長期休みの時は、開館時間が長くなるので各館で労働時間を増やしたり工夫をしてくださっています。子どもたちに対してのスタッフの人数は足りるよう確保しており、足りないような時は相談を受けて確保に努めています。

【J 委員】

人数はしっかり足りているということでしょうか。

(指定管理者)

今は足りています。

【会長】

次に児童館の活動について、平成27年度活動報告と平成28年度の主な活動計画を事務局から説明をお願いします。

(事務局)

城端児童館、井波児童館、福野児童センター・福光児童館の児童厚生員より、平成27年度活動報告と平成28年度の主な活動計画について説明。

【会長】

ただいまの説明について、なにかご意見・質問などありますか。

【会長】

利用者が増えてきているように思いますので、それに対する対応が必要に思います。また、地域の方の協力というものは非常に大切なものですので、これを継続できるようにしていただきたいと思います。4館はそれぞれ特徴ある素晴らしいものがありますので、互いに参考にして交流して進めていっていただきたいと思います。

【I 委員】

きつずらんどクラブですが、子どもたちは歩いて行っているのでしょうか。

(上田児童厚生員)

福光中部小学校から歩いてきています。

【C 委員】

それぞれの児童館で色々と行事をされていて素晴らしいと思います。利用人数にムラが

あるように思いますが、魅力あるものに来られるということでしょうか。どのように受け止めておられますか。例えば、きぼりっこでは母の日のプレゼント作りは30人参加で、ハガキを書こうは10人となっています。こういうことは事前に予想できて実施しているのでしょうか。

(酒井児童館職員)

例えば、夏であればこの期間は家族旅行に行かれる時期だなと予想したり、冬場であれば雪が降ったあと天気良ければ今日はスキーに行って参加が少ないんだなと感じたりしています。基本的に30名分は常に用意していますが、多くなる時は急いで増やし対応しています。食べ物の場合は事前に出欠をとらせていただいています。当日急にきて、参加したい子がいてもよいように基本30名分で対応させていただいており、問題なく1年を過ごすことができます。

【会長】

次に城端児童館の改築について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

工事工程と名称選考について説明。

【会長】

ただいまの説明について、なにかご意見・質問などありますか。

【C委員】

地元の小学校や保育園に名称を応募させることは考えているか。

(事務局)

城端小学校と城端さくら保育園で応募用紙を一人ひとりに配付し、学校と保育園で回収していただくことで、幅広く子どもたちに応募してもらおうと考えています。

【会長】

井波の時の例もありますので、参考にして行っていただきたいと思います。
次に次世代育成支援の施策展開の進捗について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

次世代育成支援の施策展開の進捗について説明。

【会長】

施策展開の進捗状況を説明いただきましたが、ご意見・質問などありますか。

評価 C というものがあるが努力してもらわないといけない。

(事務局)

評価指標については、計画の中には入っておらず、今後の指標を検証するために、今回担当課で新たに加えた項目であり、これに基づき計画を進めていこうとするものです。

【F 委員】

「児童健全育成事業の充実」は、さんさん広場を増やしていこうとするものか。

(事務局)

放課後児童クラブの充実を図るものです。例えば、福野児童センターアルカス内で2つの放課後児童クラブを実施し多くの児童が利用していますが、2つになる前は、小学校体育館で実施していました。このように、学校の空き教室やその他の施設があれば活用していくことを検討しているということを記載しています。具体的に場所が決まっているものではなく、福野地域ではこのような課題があるということです。

【F 委員】

「児童館や子育て支援センターにおける乳幼児と中高生のふれあいの場の充実」ですが、子育て支援センターで行うのは土日も実施しており、市外からの乳幼児の利用もあるので分かりますが、児童館で行うことの理由を教えてください。

(事務局)

児童館でも乳幼児の利用があります。この施策の目的は、中高生が乳幼児とふれあうことで、次代の親の育成を目指すものです。児童館の利用できる対象年齢は0歳から18歳までとなっています。

【B 委員】

福光児童館の中に子育て支援センターが入っていたが、今はどうなっているのか。

(事務局)

3月までは、福光児童館の中に「ひよこ広場」があり、業務委託をして運営していましたが、4月に開園した福光かがやき保育園の中に子育て支援センター「ほほえみ」が開設されたことで、こちらで業務委託をして運営していただいています。保育園へは、低年齢

から入園されているようですので、対象者が減ってきています。このため、子育て支援センターの箇所数の見直しを行い、児童館内にあった子育て支援センターは休止しています。

【会長】

次に、その他について事務局から協議事項はありますか。

(事務局)

ありません。

【会長】

これで協議事項は終わりましたが、委員の方で意見・質問などありますか。

特にないようであれば、本日の運営委員会はこれで終了します。

(事務局)

最後に閉会のことばを前田副会長からお願いいたします。

【副会長】

皆様お疲れさまでした。どんな時でも子どもたちは間違いなく成長していかなければならないです。できるだけ大人としてできることを皆様に頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。